

製品名: P2X3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15605**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	P2RX3
別名	P2RX3; P2X purinoceptor 3; P2X3; ATP receptor; Purinergic receptor
遺伝子 ID	5024.0
SwissProt ID	P56373
免疫原	抗血清はヒト P2RX3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

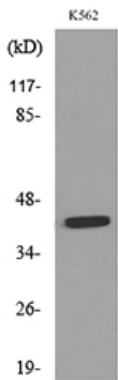
この遺伝子産物は、ATP に対するプリン受容体ファミリーに属します。この受容体はリガンド依存性イオンチャンネルとして機能

し、ATP 誘発性痛覚受容体活性化を伝達する可能性があります。マウスを用いた研究では、この受容体が末梢疼痛反応に重要であり、膀胱容積反射を制御する経路にも関与していることが示唆されています。この受容体に対する選択的拮抗薬の開発は、疼痛緩和および蓄尿障害の治療における治療の可能性を秘めている可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: リガンド依存性イオンチャネルとして機能する ATP 受容体。、オンライン情報: P2X 受容体エントリー、類似性: P2X 受容体ファミリーに属する。、サブユニット: ホモポリマーまたはヘテロポリマー。、

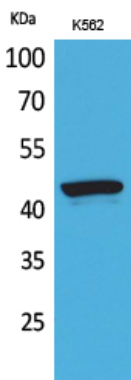
研究分野

カルシウム、神経活性リガンド-受容体相互作用;

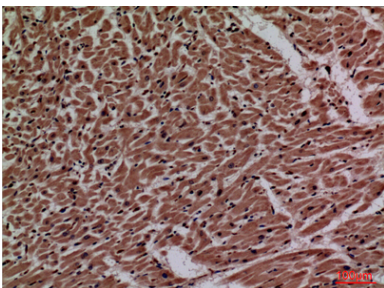
画像データ



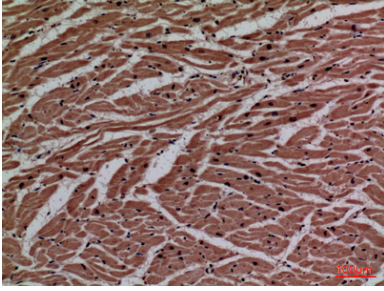
P2RX3 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



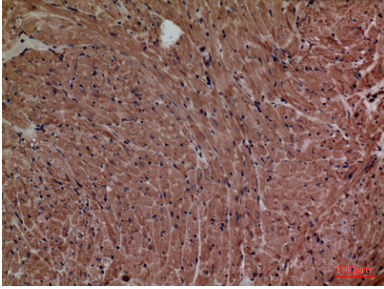
P2X3 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



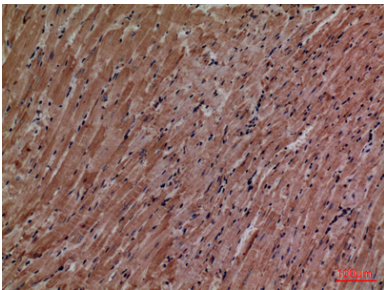
パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された